



議会だより

松崎

No.121

平成30年10月25日

the most beautiful
villages
in Japan



松崎町は「日本で最も
美しい村」連合に加盟
しています。

《主な内容》

第3回定例会（9月4日～9月6日）

- 平成29年度決算審議……………2
- 平成30年度補正予算他……………5
- 町政を問う 一般質問に5議員……………7

「着物の似合う町」

平成30年9月定例会

平成30年第3回定例会が9月4日から3日間にわたり開催されました。

定例会では、平成29年度の一般会計および特別会計決算など15議案について審議を行い、1議案を修正可決、その他は原案どおり可決・認定しました。

平成29年度 一般会計 決算審議

歳入総額は36億3275万7千円、歳出総額34億4267万8千円、翌年度への繰越額1670万1千円で、実質収支額は1億7337万8千円の黒字決算となった。

歳入

問 税の共同徴収が始まり収入未済額は減ってきているが、どれ位の人数が未収となっているのか。

答 窓口税務課長 平成29年度分の町税が完納せず繰越した人数は、個人町民税が106名、法人町民税が18社、固定資産税が232名、軽自動車税については52名が未納となっている。

問 将来的に回収の見込みはどうか。

答 窓口税務課長 徴収困難案件については、財産調査を行い、資産があれば差押えをするが、給与や年金なども含め差押

えができないような場合は、執行停止措置を執るようになる。

問 地方消費税交付金が決算額として1億2500万円余り計上されているが、予算としては200万円減額されている。この交付金はどのように算定されるのか。

答 総務課長 消費税8%の内の国税分が63%、地方分が17%あるが、この地方分の2分の1を市町村に交付しているもので、人口割のほか従業者数による按分で算定される。

予算の減額は、人口減少や消費の落ち込みなどを勘案して、それに見合う分を減額したものの。

問 町営住宅使用料が部屋代、駐車場代、浄化槽代の3つに分かれて請求されているようで、それぞれ滞納が発生している。駐車場代は別としても、部屋代と浄化槽代は一緒にして家賃とすべきでは。

答 産業建設課長 古い町営住宅には合併浄化槽がなかったことから、新しく小坂住宅を建設したときに浄化槽使用料は別にしたものと思われる。今後、徴収の方法については、やりやすい方向で検討していきたい。

問 ふるさと納税は約2700万円で、2300万円が目標に届かなかった。今年度も見込み額を5000万円としているが、目標が達成できないかを計上するのはいかがなものか。

答 企画観光課長 29年度からは4事業者21品目を加え返礼品の充実を図ったほか、インターネット「ふるさとチョイス」を使ったPRにも力を入れたが目標に届かなかった。中身を検証して今後の改善に結び付けたい。

問 ふるさと納税は、地方の新たな財源として国

が制度化したもので、全国の市町村がしのぎを削っている。松崎町ここにおいてと全国展開するノウハウが無ければ、アドバイザーを入れて知恵を借りてはどうか。

答 町長 私どもが考えているアドバイザー、コンサルを入れたらと言っているのを平気で却下しておいて、全く別の案件でアドバイザー、コンサルを入れたらどうかと言う、そういう神経に非常に腹立たしさを感じる。



9月定例会 議場の様子

歳出

から松崎町に納税された金額の実績に応じて手数料が発生する。

問 道の駅パーク構想基本計画を499万円で不

二総合コンサルタントに委託したが、何社応募があつて、この業者に決定した根拠は。

答 企画観光課長 指名型プロポーザルで11社を指名し、参加意思のあつた1社から提案書の提出を求めた。

選定委員会において提案内容の審査を行い、町が示した仕様を満たしているかと判断し、この業者で決定した。

問 ふるさと納税システム手数料31万7千円はどのような内容の手数料か。

答 企画観光課長 「ふるさとチョイス」というふるさと納税専門のホームページがあり、ここに松崎町の返礼品などを掲載している。

手数料は毎月の定額のほか、このホームページ

導入した。実績としては、件数は5100件ほどで全体の12・7%、金額では5906万2千円で6.5%となっている。

問 電算推進費で事務用パソコン29台のほか、関連機器として高額な支出となっているが、幼稚園も含めて全職員に配備されたのか。

答 企画観光課長 パソコンについては既に全職員に配備されている。今回の購入は、現在使っているウインドウズ7のサポートが2020年で終了することから、このタイミングに合わせて3か年で更新を計画しているもので、昨年度は29台を350万円ほどで購入した。

問 コンビニエンスストア収納事務委託で34万3千円支出されている。29年度から導入したもののだが、状況はどうだったのか。

答 窓口税務課長 昨年4月よりコンビニ収納を

導入した。実績としては、件数は5100件ほどで全体の12・7%、金額では5906万2千円で6.5%となっている。

指定されている。松崎港は沼津港と組みで、14の内の1つに指定されている。

問 多言語翻訳システム使用料147万2千円の内容は。

答 企画観光課長 長八美術館の漆喰鏝絵作品54点について、作品の説明にQRコードを付け、スマートフォンをかざすと日本語以外の3言語に翻訳できるようなシステムを整備したものだ。

問 港湾管理費の負担金で、特定地域振興重要港湾活性化協議会6万円とあるが、この特定重要港湾とはどういうものか。

答 産業建設課長 港湾にも色々種類があるが、その中でも特に重要な港湾として全国で14港湾が

指定されている。松崎港は沼津港と組みで、14の内の1つに指定されている。



観光利用が期待される新港湾

るので、私も県には申し入れるつもりであるが、今現在のトラブルの対処を県に依頼することも現実的ではない。中期的にはお互いの役割分担を明確にしていきたい。

問 今年の夏は、キャンプ、水上バイク、釣り人で大変賑わっていた。県の管理であつても、ある程度、町が規制することも考えなければならぬが、観光拠点として利用することで町にメリットもあると思うが。

答 町長 県の管理であつても、キャンプや水上バイクのトラブルは全て町が対処するという非常に不合理なことになってい

るので、私も県には申し入れるつもりであるが、今現在のトラブルの対処を県に依頼することも現実的ではない。中期的にはお互いの役割分担を明確にしていきたい。

賛成討論

昨年は大型の工事もなく、歳入歳出とも縮小した。国庫支出金、地方交付税も縮小している中で、色々やりくりしているなというところもあがる。

自主財源比率は上がったが、総額が下がったことによるもので、自主財源自体も縮小している。

そういう中、職員が一生懸命頑張つてやっつけていることを認めないわけにはいかない。本家に賛成する。

国民健康保険 特別会計

歳入総額13億2852万3千円、歳出総額12億2845万9千円で1億6万4千円の黒字決算となった。

問 一般会計からの繰入金はどういう計算によるものか。

答 健康福祉課長 一般会計からは法で決められたもののみを繰り入れている。

出産育児一時金や事務費繰入金など内容によって繰入率は異なる。

問 基金繰入金のところ、本年は取り崩しをせず1300万円を積み立てることができたが、その要因は何か。

答 健康福祉課長 2年遅れで精算される前期高齢者交付金が、前年度と比べ約9200万円ほど増え、財源的に余裕があつた。

たので基金の取り崩しはせず、逆に積み立てることができた。

問 ジェネリック薬品が選択制になっている。ジェネリックを希望すれば本人負担も少なくなり、国保会計からの出費も抑えられるが、診察してもらった医師からは、ジェネリックを希望するか聞かれることはない。

その辺の町と医師会との話し合いはどうなっているか。

答 健康福祉課長 町としても医療費の削減にもつながるので、被保険者には保険証を交付する際にジェネリックを推奨している。

先生方には医療関係のことで話し合う機会があるので、各保険者からジェネリックの推奨をお願いしているが、実際現場で患者さんを前にどれだけ勧めているかは把握できていない。

介護保険 特別会計

歳入総額8億8593万6千円、歳出総額8億5861万5千円で、2732万1千円の黒字決算となった。

問 29年度末で要介護4が69人、要介護5が43人で、ほとんどの方が寝たきりではないかと思う。

家族としては特別養護老人ホームに入所させたくても施設が満床で入れない。実態として何人くらいが入所待ちか。

答 健康福祉課長 町内の特養施設は十字の園しかないため、同じ人が隣市町の施設へも重複して申し込みはしていると思うが、実際の待機者は30人余りと思われる。

問 松崎町には十字の園、下田市には梓の里、南伊豆町にはみなとの園などあるが、入所の際に地元

の人が優先されるという考え方はあるのか。

答 健康福祉課長 待機者が大勢いる中での入所順については、自宅一人でしておけない場合や、介護する方が高齢者や障害者であるなど、緊急を有する方を優先的に入所させると聞いている。



町内の特養施設「松崎十字の園」

その他特別会計

◎後期高齢者医療特別会計 歳入総額1億1200万9千円、歳出総額1億1165万8千円で35

万1千円の黒字決算となった。

◎岩地集落排水事業特別会計 歳入総額698万1千円、歳出総額513万8千円で184万3千円の黒字決算となった。

◎石部集落排水事業特別会計 歳入総額565万2千円、歳出総額489万9千円で75万3千円の黒字決算となった。

◎雲見集落排水事業特別会計 歳入総額2284万1千円、歳出総額1944万6千円で339万5千円の黒字決算となった。



一般会計
補正予算
【修正可決】

補正予算(第2号)は、歳入歳出にそれぞれ948万2千円を追加するものであったが、議員2名から道の駅に計画している農林水産物直売所の整備、運営等に関する指

導謝礼42万円を削除する内容の修正案が提出され、採決の結果、全会一致で修正案を可決した。

現在、実施設計中の直売所について、施設の機能面や今後の運営方法等を、南伊豆町「湯の花」の経営に携わった南伊豆町在住の方にアドバイスを依頼し、その謝礼として1回あたり3万円(3月末までに14回)を予算計上したものであるが、内部のレイアウトなどは指導を受けるほどの規模でもなく、また、運営主体が決まっていない中で運営指導を受けることに

についても、現時点では不要であるとした。
長嶋町長になってからの補正予算の修正については、6月定例会の第1号補正に続き2度目となった。

問 税務総務費の時間外手当が70万円計上されている。当初と合わせると148万円にもなるが、どういう理由か。

答 窓口税務課長 納税係の職員が1名退職したため、その分の業務を他の職員で割り振っている。受け持ち以外の業務が増えるので増額した。

問 窓口税務課が1名減となっているのに、企画観光課の職員1名を健康福祉課に異動させた。なぜ窓口税務課に配置しないのか。職員の健康対策も含めて適正な人員配置をどう考えているのか。

答 統括課長 平成30年度から国民健康保険制度が大きく変わった。担当

職員も同時に異動し、時間外勤務が増えたことから健康福祉課に職員を増員した。

窓口税務課についても、課内部での調整や臨時職員での対応など柔軟に対応していきたい。

答 町長 議員が人事配置などを心配してくれるより、私の方がよほど職員を心配し、健康管理に気を配っている。窓口税務課をどのようにするかについては議員以上に考え検討している。



駿河湾フェリーの存続を

問 環駿河湾観光交流活性化協議会負担金55万円の内容は。

答 企画観光課長 駿河湾フェリーの存続に向け協議をしている中で、関係団体が一体となって地域の魅力を発信し、利用促進に取り組むための費用として計上した。

松崎町の負担は55万円であるが、協議会全体では総額500万円の事業費となる。

その他の
補正予算

◎国民健康保険特別会計
補正予算(第1号)

補正予算(第1号)は、歳入歳出にそれぞれ87万3千円を追加し、補正後の額を11億272万3千円とした。

歳入の主なものは平成29年度決算による繰越金923万8千円の増額や被保険者減による保険税1097万9千円の減額など。歳入の主なもの

は、前年度療養給付費の精算など1699万円8千円、基金積立金499万9千円1千円、今後の医療費増額に備え予備費に2005万3千円をそれぞれ増額した。

◎後期高齢者医療特別会計
補正予算(第1号)

補正予算(第1号)は、平成29年度決算による繰越金の確定や広域連合への負担金の精算などによるもので、歳入歳出からそれぞれ661万6千円を減額し、補正後の額を1億148万9千円とした。

◎介護保険特別会計
補正予算(第1号)

補正予算(第1号)は、平成29年度決算による繰越金の確定や保険給付費負担金の精算などによるもので、歳入歳出にそれぞれ364万3千円を追加し、補正後の額を9億652万3千円とした。

条例

◎松崎町自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例

太陽光及び風力による発電事業により、大規模な森林伐採や土地の造成など、自然環境や生活環境への影響が懸念されることから、一定規模以上の事業については、事業の抑制区域を指定したり、近隣関係者への説明を義務付けたりするもので、本年11月1日より施行される。

◎松崎町税条例の一部を改正する条例

生産性向上特別措置法の施行に伴い、中小企業の設備投資のうち労働生産性を向上させるものとして認定を受け、平成33年3月末までに取得した一定の機械装置について、固定資産税の課税標準額を最初の3年間ゼロとするもので、本年9月6日から施行された。

人事

◎教育委員会委員の任命

教育委員の杉山公一氏（建久寺）が9月30日をもって任期満了となるため、新たに渡辺 攻氏（那賀・76歳）を委員に任命することについて同意したもので、任期は平成30年10月1日から4年間。

契約

◎小型動力ポンプ付積載車売買契約

老朽化した小型動力ポンプ付積載車を更新するもので、指名競争入札の結果、次とおり購入することを承認した。

- ・ 契約の相手方 高橋自動車工業株
- ・ 契約金額 648万円
- ・ 納入期限 平成31年3月14日
- ・ 配備先 第1分団第2小隊（宮内・伏倉地区）

第3回定例会賛否状況一覧

件名	議員						
	深澤守	伴高志	渡辺文彦	藤井要	福本栄一郎	佐藤作行	稲葉昭宏
松崎町自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○
松崎町税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度松崎町一般会計補正予算（第2号）について 【修正案】	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度松崎町一般会計補正予算（第2号）について 【修正部分を除く原案】	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度松崎町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度松崎町介護保険特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町岩地集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町石部集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度松崎町雲見集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度小型動力ポンプ付積載車（1-2）売買契約について	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○

賛成：○ 反対：×

町政を問う



藤井 要 議員

問 小中学校エアコン設置は

答 前向きに考えていきたい

問 県内の小中学校にエアコン設置の動きが出ている。町では旋回扇での対策をしているが、子供達の健康面や勉強に集中させることからエアコンを設置する考えはないか。

答 (町長) エアコン整備には多額の費用が掛かるが、児童・生徒が適温の中で授業を受けられる環境を整えることは、重要と認識している。今後は、学校、生徒、保護者等の意見を

伺い効果的な整備計画を検討していきたい。

問 勤労者体育館の改修を

答 優先順位をつけ対応

問 勤労者体育館や海洋センタープールは松崎のスポーツ振興に欠かせない施設であるが、建築後数十年を経過し老朽化が進んでいる。トイレの洋式化や体育館の床面の改修等を望む声があるが、

今後の整備計画は。

答 (町長)

勤体・海洋センターには和式トイレしかないの、避難所となっている勤労者体育館は早めに対応していきたい。

床面の改修などは現状を確認し、優先順位をつけて対応していく。

問 幼稚園の存続対策は

答 魅力ある園づくりを

問 今年度の松崎幼稚園の入園者は7名で、聖和保育園は16名であった。国の施策である保育料無償化によっては松崎幼稚園への入園者減少が予想されるが、今後の幼稚園の在り方、方向性についてどう考えているか。

答 (町長)

松崎幼稚園は35名、聖和保育園には70名が在園しているが、平成29年度中には21人しか生まれていないので、今後も減少が続くと考えられる。

保育園は入園認定基準が定められ、定員や保護者の考えもあり、全てが保育園にとは考えていない。保護者が幼稚園に何を求めているかを把握し、人が集まる魅力ある幼稚園にしていきたい。

問 買物支援の検証は

答 総合的見地から継続

問 買物支援事業の実証実験も終わり、4か月間で1回のみ利用者が20名、10回以上が5名、

答 買物支援事業の実証実験も終わり、4か月間で1回のみ利用者が20名、10回以上が5名、

最高50回以上の利用者もいた。また、一日2回以上の利用者もいたので検証も必要ではないか。

答 (町長)

7月末現在の利用登録者は243人で利用実績は261件、町の負担は26万7千円となっている。

日常生活に不便がある方の支援が目的であり、内容を見てそれなりに役立つと感じているが、利用目的のチェックは行ってない。



これからの幼稚園のあり方は (松崎幼稚園)

問

小中学校への冷房設置は

答

効果的な整備計画を検討



深澤 守 議員

問

児童・生徒の熱中症のリスクを回避し、より良い教育環境で学んでもらうために、来年夏までに小中学校に冷房設備を設置すべきと思うが町長の考えは。

答 (町長)

義務教育における教育環境の格差は問題である。学習しやすい環境整備のために、学校、生徒、保護者の方々の意見を伺いながら効果的な整備計画を検討していきたい。

問

直売所の収支予想は

答

今は答えられない

問

道の駅の直売所整備における収支見込みは。

答 (町長)

現在、直売所の運営システムの構築を進めているため、現時点で具体的な収支見通しは答えられないが、成功に向け全力を傾ける。
問 マーケティングをやるらないで、来客数や観光

客など直売所の対象者となるお客様の見込みは分からない。基礎データがない中での収支予想は。

答 (企画観光課長)

収入の分析としては、単純にこれくらいの人数が来るから、掛ける単価でいくらかというように簡単にはいかない。

どういう品物があつて、来客数や消費単価のほかに、収入を算定するには手数料率も大きな問題になる。これもまだ決定していないので、その収入の見方というのは今後検討するが、現在はデータを含めて準備をしているところである。

問 直売所百坪の根拠は

答 湯の花を参考

問 直売所が100坪で、ほぼ南伊豆の湯の花売店と同じ規模であるが、売り場面積を100坪にした根拠を正確な数字などで示してほしい。

答 (企画観光課長)

施設の大きさ、規模については、色々な施設を参考にしたが、湯の花もその一つで当然参考にしました。

建物は100坪位になるが、販売面積は80坪ほどと考えている。実際のところは、根拠といってそれが50坪なのか、40坪なのか、100坪なのかということではなく、参考にした道の駅の中で一番実績等々を上げていく湯の花を参考にさせてもらった。

問 加工場整備は

答 応援したい

問 農業の振興や就農支援のためにも、新たに充実した加工場を整備する考えはあるか。

答 (町長)

生産したものを右から左へ流すのではなく、付加価値を高めたものを作るための施設は応援していきたい。そういう人物、業者も応援をしたい。



参考とした南伊豆の道の駅「湯の花」



耕作放棄地にコスモスの種まきをする松高生



伴 高志 議員

問 防災意識の向上は

答 地区を変え訓練を実施

問 大阪北部地震や西日本豪雨の被害から、改めて防災意識の向上が必要であると考えるが、町長の考えはどうか。

答 (町長)

町では津波避難訓練のほか、6月の土砂災害防止月間には毎年土砂災害避難訓練を実施しており、今年度は門野地区を対象として訓練を行った。

次年度以降も地区を変え訓練を実施し、防災意識の向上に努めていく。

問 災害物資協定は

答 39の応援協定締結

問 災害に遭った場合に備え、職員の被災地への派遣、近隣市町との日頃からの連携、近隣・遠方の民間事業者などの災害物資協定を結ぶなど、防災・減災策の強化を図っていくことが必要だと考えるがどうか。

答 (町長)

現在、救援物資や災害

時支援、救護医療、人員輸送など39件の災害時応援協定を締結している。今後も多様な機関、事業者との協定を締結していきたい。

また、被災地への職員派遣については、被災地からの要請に常時対応できるように、日頃から準備しておくよう指示したところである。

問 耕作放棄地対策は

答 町に合う方法を検討

問 耕作放棄地の増大は獣害を広げる要因にもなり、最優先課題だと考えるが、対策はどうか。

答 (町長)

再生可能な耕作放棄地は、28年度末84haが29年度末78haと6ha減少している。

鳥獣害対策については、今年度、防護柵や電気柵設置の被害防止対策事業補助金の限度額を10万円から15万円に増額した。

問 ごみ処理共同化は

答 今後検証していく

また猟友会等と連携し29年度捕獲数は県の管理も含め前年度比101頭増加したが、今後も松崎町に合う方法を検討し、強化に努めていく。

問 町民の利便性を保ち、経済的な見通しとしては、将来的に西伊豆町と2町の共同設置・管理・運営を目指すことだと考えるが、どうか。

答 (町長)

1市2町による広域ごみ処理事業については、7月の担当者会議において、まず勉強会で検討を重ねてから協議へ移行していく考えになった。

1市2町での広域化計画が見直しになる場合には、さまざまな可能性について検証していかねければならないと考えている。

問 豪雨災害への対応策は

答 早めの避難を促す



渡辺 文彦 議員

問 7月に西日本で広範囲に及ぶ豪雨災害が発生したが、同様の災害が伊豆地域全体で生じた場合、現在の町の防災計画で対応は可能か。

答 (町長)

町の防災計画では、河川の水位や時間雨量等の基準を定め避難勧告等を発令することになるが、私は早め早めの避難が重要であると思う。「危機管理に絶対はない」と考えるので、あらゆる

場面を想定し、見直すべきところは見直したい。

問 ボランティア受入態勢は

答 社協を全面的に支援

問 災害ボランティアの受け入れ態勢は整備されているか。また、社協だけでは人数的に限界があるのでは。

答 (町長)

町の社会福祉協議会が受け入れ拠点となり、開

設場所は基本的には勤労者体育館となっている。社協だけでは人数が限られているので、災害協定を結んでいる県社会福祉協議会や県内市町の社会福祉協議会に応援を要請することになるが、町も全面的に関わっていく。

問 大川小悲劇の教訓は

答 危機管理能力を高める

問 平成23年3月11日東日本大震災にて、石巻市立大川小学校の児童74人、教員10人が犠牲となり、一部の保護者が市と学校長を訴えた仙台高裁での判決では、市と学校長らの過失を認めた。この判決をいかに捉えているか。

答 (町長)

津波対策をはじめとした防災、減災対策に常に緊張感をもって当たる。6月に実施した小学校の訓練は、防災担当者も参加し、訓練のマンネリ化防止を図った。

答 (教育長)

学校現場での危機管理能力をつける訓練が必要で、訓練は地域が一体となり行うことが大切であると考えている。

問 事業と評価の整合性は

答 基本的方向性で一致

問 平成29年度における総合計画の評価は、実施

事業の数値目標と評価に整合性がないのでは。

答 (企画観光課長)

総合計画は予算化しているメニューを載せてあり、必ずしも事業評価項目と実施計画の事業メニューは一致することはないが、目指す方向性においては同じで、整合性が全くないということでもない。



津波避難訓練 (松崎小学校屋上)



庁舎1階に配置されたコンシェルジュ



福本栄一郎議員

問 水門と防潮堤の建設は

答 一体整備が効果的

問 津波対策地区協議会は、平成29年2月以降一度も開催されていない。住民の安心・安全な暮らしを守ることは、町の最優先課題であり、義務である。協議会が開催されず、結論が先送りになっている理由は。

答 (町長) アンケート結果では、L1想定の高波高に対応できる11mと暫定高の7.5mに意見が二分されていた。実施にあたり暫定高でも国の交付金の対象になるのか、県で国に確認するのに時間を要したためである。

問 松崎海岸の防潮堤嵩上げと那賀川河口水門の建設が協議会で話し合われてきたが町長の考えは。

答 (町長) 防潮堤と水門は一体整備で効果が発揮されるので、セットでの整備が必要と考える。高さは、住民生活や景観に配慮した高さが必要と考える。

問 公約の災害対策は

答 未達成は辞めるとき

問 町長の選挙公約である災害に強いまちづくりに対する取り組み状況は。

答 (町長) 区長、役場職員、消防署との地区見回りは、署のできる範囲で協力してもらえらることになった。避難道、避難場所などは、町内を廻り、自分の目で確かめている。公民館の耐震改修整備は年度内に道筋をつきたい。

問 町長になる時の公約は約束である。公約は果たす気持ちでやっているが、果たせなければ辞めるときだと思っている。

問 案内人は必要か

答 接遇が不十分

問 8月20日から庁舎1階にコンシェルジュ(案内人)職員を配置している。庁舎は1、2階とも

オープンスペースでカウンターを設け、来客があった場合、職員が懇切丁寧に対応しているがコンシェルジュを配置しなければならぬ理由と人的配置の余裕は。

答 (町長) 来庁者にきめ細やかなサービスを提供するものである。各自が仕事の進め方、業務を見直すことで時間は捻出できる。

問 職員が毎日一人立つと給与で年間平均360万円かかる。現在、戸籍窓口係が3人体制で受付業務を行っている中で実施する費用対効果は。

答 (町長) 費用対効果という発想より、接遇が不十分と思うから実施している。

問 コンシェルジュはずっと継続するのか。

答 (町長) 期間はいつまでと申し上げないが、接遇が定着したと思ったら考える。

次の定例会は、12月5日(水)からの予定です。

議会のうごき

7月

- 6日 広報編集委員会
- 9日 伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会要望活動(名古屋市)
- 10日 駿河湾フェリー存続に関する要望活動(静岡市)
- 12日 議会だより120号発行
- 20日 伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会合同促進大会及び要望活動(東京都)
- 23日 賀茂郡町議会議長会議(南伊豆町)
- 24日 静岡県市町議会議員研修会(静岡市)

8月

- 10日 議会全員協議会
- 29日 議会運営委員会・広報編集委員会
- 30日 下田地区消防組合議会定例会
下田メディカルセンター組合議会定例会
- 31日 議員会勉強会

9月

- 4日～6日 第3回定例会
- 12日 静岡県町村議会議長会総会・議長会議(静岡市)

表紙の写真「着物の似合う町」は文化協会写真部より提供。

この人に 聞きました⑱ 児童館 利用者



町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回も、児童館を利用しているお母さん方にお話を伺いました。

幼稚園・保育園に要望はありますか？

◎保育園について
もともと、保育園を希望していたのですが、いま0～1歳児はいっぱいですと言われ入園できませんでした。今は働きた

くても働けない状態です。いくら環境が良くても子どもが小さい時はお母さんが働けないなら、松崎町に移住はできないと思います。待機児童が0

人になるような意気込みで町には頑張ってもらいたいです。

◎幼稚園について
幼稚園では子どもの発達にあった遊び・教育をしてほしいです。子どもたちは自然の中で遊び

ろいろな事を学び、身につけていきます。反面、鉄棒やでんぐり返しができない子もいて、運動面が都会の子どもと比べて劣っているような気がします。

◎自然の中で心を育てることも重要だと思いが、子どもたちの成長にあった遊び・教育をして子どもたち個々の能力を伸ばしてほしいと思

（聞き手 編集委員長）

海鳴り

地方公共団体の長は、議会の議決を経て諸々事務を執行することとされ、独断専行は許さない。それは同時に議会の地位の重要性を示すもので、議会がいかに住民の福祉を考え、住民の立場に立つて判断しなければならぬいかである。それには住民を代表する様々な議員が議論して合意形成することが最も重要であるが、近年は大多数の町村で人口減少に伴い議員定数の削減がなされてきた。

前回の統一地方選では373町村で議員選挙が行われたが、89町村が無投票、4町村では定数割れとなるなど小規模町村ほど議員のなり手不足が表面化しており、各方面で検討が始められている。このような中、来年4月には我が町でも議員選挙が予定されているが、多くの方が立候補されることを期待したい。

（議長）